

～人と自然がふれあう やすらぎのまち那須塩原～

わたしたちのまちづくり

平成23年度 那須塩原市予算説明書



わたしたちのまちづくり 発行にあたって



那須塩原市長

粟川 仁

市民の皆様には、日頃から市のまちづくりに対し、たくさんのご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成23年度の予算説明書「わたしたちのまちづくり」を市民の皆様にお届けいたします。

この説明書は、これまでの法律で定める予算書では伝えきれない事業の内容を写真や図などをまじえ、できる限りわかりやすくお知らせするために作成したものです。

もとより予算書は、その年度(4月から翌年の3月)に入ってくるお金(収入)と出ていくお金(支出)の全部をあらわしたものであり、1年間の仕事内容とそれにかかる費用を積み重ねたものです。みなさんが納めた税金がどのように使われ、わたしたちの生活にどう役立っていくのかを知るうえで重要なかわりを持つものです。

この「わたしたちのまちづくり」を手にとって、ぜひ目をとおしていただき、よりよいまちづくりの議論の一助として活用されますことを心から願っています。また、今後も皆様のアドバイスをいただきながら、より分かりやすく親しみやすい予算説明書をお届けしていきたいと考えています。

そして、この予算説明書を通じて、那須塩原市のまちづくりについて、さらに理解が深まり、市の目標である「人と自然がふれあう やすらぎのまち 那須塩原」の実現に向け、市民をはじめ多くの皆様の積極的な参加とご支援、ご協力をいただくことができれば幸いです。

目次

発行にあたって

◇目次	1
◇この本の見かた	2
◇予算の全体像	3
◇予算の内訳	4
◇予算編成のキーワード	5
◇財政の推移	6
◇市の財政状態「ここが気になる!？」	6
◇財政状況に関する指標	7
◇家計簿に例えると	8
◇財政にかかわることばの説明	9
◇財政の中期見通し	10
◇重点事業	11
◇個別事業説明	
I 自然と共生するまちづくり	
◇ 自然環境の保全・活用	13
◇ 清潔で美しい地域づくり	13
◇ 地球環境の保全	14
◇ 計画的な土地利用の推進	16
II 快適で潤いのあるまちづくり	
◇ 安全に暮らせる地域づくり	17
◇ 消費生活の安定・向上	18
◇ 公共交通網と交通安全対策の充実	19
◇ 姉妹都市交流・国際交流の推進	19
◇ 男女共同参画の推進	19
◇ 安心安全な水の供給	20

III 健やかに安心して暮らせるまちづくり

◇ 地域福祉の充実	21
◇ 障害者福祉の充実	21
◇ 高齢者福祉の充実	22
◇ 児童福祉の充実	24
◇ 保健・医療の充実	26
◇ 保険・保障制度の充実	28

IV 安全で便利なまちづくり

◇ 計画的な市街地の形成	30
◇ 憩いの空間づくり	30
◇ 良好な住宅地・居住空間の形成	31
◇ 安心して活動できる空間づくり	31
◇ 体系的な道路網の整備	31
◇ 雨水排水対策の推進	33
◇ 効率的・効果的な下水道の整備	34

V 活力を創出するまちづくり

◇ 農林業の振興	36
◇ 畜産業の振興	39
◇ 商業・サービス業の振興	40
◇ 観光の振興	41
◇ 雇用・就労環境の充実	42
◇ 中心市街地の活性化	43

VI 豊かな心と文化を育むまちづくり

◇ 生涯学習の推進	44
◇ 学校教育の充実	45
◇ 芸術・文化活動の振興	49
◇ 生涯スポーツの振興	51
◇ 青少年の健全育成	52

VII 創意と協働によるまちづくり

◇ 効率的・効果的な行財政運営の推進	53
◇ 市民との協働による地域づくり	54
◇ 地域情報化の推進	55



この本の見かた

(1) この予算説明書は、事業の内容をわかりやすくお知らせするため、市の施策の基本である「第1次那須塩原市総合計画」(平成19年度～28年度)の体系に合せた構成になっています。

(2) 掲載した事業は、第1次那須塩原市総合計画前期基本計画(平成19年度～23年度)に基づき作成された「平成23年度実施計画」の事業に、お知らせしたい新規事業などを加えたものを基本として掲載しました。⇒ 全部で**179**事業掲載

(3) 説明の原則は事業単位(ひとかたまりの仕事)ですが、市民生活に身近な補助金などは、一部を事業から取り出して掲載しています。

(4) 今年度新たに取組む新規事業、事業の一部に新たな取組みがあるもの、サービスなどを拡大した事業については、説明文のとなりに、以下の表示をしています。

新規



=新たな取組みです

一部
新規



=一部が新たな取組みです

レベル
アップ



=サービスが広がります

(5) 予算額の右隣の矢印は、前年度当初予算と比べた予算額の増加、同程度、減少を示しています。



= 5%以上増加



= ほぼ同じ



= 5%以上減少

(6) 予算額は、万円未満を四捨五入しています。

平成23年度 那須塩原市一般会計予算は

403億円

キーワードは“安心・活力”

1 予算編成の基本的な考え方

平成23年度は、厳しい財政環境を全職員が認識し、コスト意識を高め、さらなる創意工夫と事務事業見直しなどを行うことが重要になってきます。このため、自主財源の確保に努めるとともに、集中行財政改革プランを着実に実行し、経費のムダ・ゼロに取り組みながら予算の効率的な配分と執行を推進し、健全な財政運営を持続していかねばなりません。また、国・県の動向を注視しながら制度改正等の状況・情勢の変化に迅速かつ的確に対応することが必要となります。

合併以来、本市は、新市の一体感の醸成と住みよいまちづくりのため、市民との協働や安全に安心して暮らせるまちづくりを基本理念として、数々の市民生活の基盤となる事業を行い、一定の成果をあげてきたところです。

平成23年度は、総合計画前期計画の最終年となることから、計画に掲げた事業を着実に実施することは言うまでもなく、これまでの事務事業を検証するとともに、新たな市民ニーズの把握や今後の人口動態・生活の変化予測などから見えてくる市の将来的な課題を見極める年でもあります。

このようなことから、平成23年度事務事業推進のキーワードを“安心・活力”とし、行政の原点である市民が“安心”、できるまちづくり、また、長引く経済不況の中でも市民が“活力”を維持し、さらには拡大できるまちづくりを進めるための事務事業を実施し、結果として健全な財政運営の堅持と変革の時代に柔軟に対応できる行政運営のための予算としました。

具体的には、“安心”事業として、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種費の助成、ファミリーサポートセンターの開設、市民参加による防災訓練など、市民生活の安心に結びつく事業を、“活力”事業として、広く市内事業者の受注機会の拡大を図るため、比較的小規模な工事や営繕など、「市単独の経済活性化対策事業」として約250事業、2億5千万円強の予算を計上したほか、稲村公民館の建設に向けた事業や西那須野地区まちづくり事業など市民の活力を支える事業を位置づけたものとなっています。

2 予算規模

◇会計別当初予算規模

会計区分	23年度当初予算	22年度当初予算	比較	増減率	
一般会計	403億円	383億8,000万円	19億2,000万円	5.0%	
特別会計	国民健康保険	122億3,288万円	119億5,988万円	2億7,300万円	2.3%
	後期高齢者医療	7億371万円	7億6,917万円	△6,546万円	△8.5%
	介護保険	59億6,216万円	56億3,834万円	3億2,382万円	5.7%
	下水道事業	27億9,424万円	29億9,871万円	△2億447万円	△6.8%
	農業集落排水事業	9,474万円	9,605万円	△131万円	△1.4%
	土地区画整理事業	1億6,737万円	1億6,736万円	1万円	0.0%
	公共用地先行取得事業	2,262万円	2,286万円	△24万円	△1.0%
	温泉事業	1億6,320万円	1億9,304万円	△2,984万円	△15.5%
	墓地事業	1,487万円	2,846万円	△1,359万円	△47.8%
	小計	221億5,579万円	218億7,387万円	2億8,192万円	1.3%
合計	624億5,579万円	602億5,387万円	22億192万円	3.7%	
企業会計	水道事業	43億2,729万円	44億9,655万円	△1億6,926万円	△3.8%

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない場合があります。

※水道事業の予算規模は、収益的支出と資本的支出の合算額としてあります。

平成23年度当初予算の内訳

歳入(収入の部)

※()は構成比を、【 】は前年度当初予算比較を示しています。

市 税		税金入	支出金(国・県)	地方交付税	市債(借入金)	地方譲与税・各種交付金	その他
184億1,266万円 (45.7%) 【+9億9,927万円】							
市民税	固定資産税	その他					
68億3,650万円 (17.0%) 【+7億5,607万円】	98億4,031万円 (24.4%) 【+2億3,602万円】		82億3,229万円 (20.4%) 【+14億1,245万円】	53億円 (13.2%) 【+2億5,000万円】			41億6,965万円 (10.3%) 【△1億792万円】
17億3,585万円 (4.3%) 【+718万円】			22億2,740万円 (5.5%) 【△5億6,280万円】		19億5,800万円 (4.9%) 【△7,100万円】		



市税は、前年に比べて約10億円の増加を見込みました。依然として続く経済不況から厳しい環境にありますが、景気対策などでわずかながら経済状況も回復基調を見せ始めていることから、平成21年度の決算額と同程度の市税収入を見込みました。

歳出(支出の部)

目的別内訳

民生費	公債費	教育費	土木費	総務費	衛生費	商工費	消防費	農林水産業費	議会費	労働費	予備費
129億4,949万円 (32.1%) 【+19億2,229万円】	55億8,470万円 (13.9%) 【+2億2,394万円】	46億6,245万円 (11.6%) 【+1億6,126万円】	42億9,515万円 (10.7%) 【△6億7,551万円】	41億9,660万円 (10.4%) 【△2億1,658万円】					3億7,674万円(0.9%) 【+8,978万円】	3億680万円(0.8%) 【+1億4,252万円】	5,000万円(0.1%) 【±0万円】



「目的別内訳」では民生費が、「性質別内訳」では扶助費が大きく増加しました。これは、子ども手当が創設から2年目を迎え、年間を通して約29億円の予算を計上したことや、介護基盤緊急整備等事業による介護施設の設備整備に約7億円の予算を計上したことによるものです。一方、「目的別内訳」のうち土木費が大幅に減少しました。これは、那須塩原駅北土地区画整理事業における事業費の減少や道路または街路整備事業の減少によるものです。

性質別内訳

人件費	扶助費	公債費	建設事業費	物件費	補助費等	繰出金	貸付金	その他
70億5,690万円 (17.5%) 【△7,081万円】	83億305万円 (20.6%) 【+13億9,268万円】	55億8,470万円 (13.9%) 【+2億2,394万円】	36億7,213万円(9.1%) 【+1億3,907万円】	57億4,651万円 (14.3%) 【△1億1,549万円】	39億118万円 (9.7%) 【△1,369万円】	11億4,500万円(2.8%) 【±0万円】	8億638万円(2.0%) 【+1億9,075万円】	
義務的経費：209億4,465万円(52.0%) 【+15億4,581万円】			投資的経費	その他の経費：156億8,322万円(38.9%) 【+2億3,512万円】				

◇平成23年度予算編成のキーワード “安心・活力”

【安心に結びつく事業】

- 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種費助成 …………… 2億1,323万円
- こひつじ保育園(認可保育園)運営費 …………… 7,736万円
- 介護基盤緊急整備等事業(特養・小規模多機能施設等整備補助) …………… 7億3,780万円
- 鳥獣被害緊急対策事業補助金(電気柵設置補助) …………… 196万円
- 市営稲村団地1号棟改修工事 …………… 1億5,781万円
- 防災対策充実(那須塩原市総合防災訓練、ゲリラ豪雨対策雨量計設置) …………… 679万円
- 小・中学校耐震改修事業(※稲村小改築9億円を3月前倒し) …………… 8,516万円

【活力に結びつく事業】

- 市単独の経済活性化対策事業(256事業)……………2億5,359万円
(広く市内業者の受注機会の拡大を図るため、比較的小規模な工事・営繕などを計上)

・庁舎や消防施設に係る事業(20事業)	1,329万円
・交通、防犯施設、墓地に係る事業(4事業)	360万円
・保育園、幼稚園、健康施設に係る事業(48事業)	936万円
・保健センター、健康長寿センターなどの健康増進施設に係る事業(9事業)	916万円
・農道、林道、農業関連施設に係る事業(10事業)	1,269万円
・観光施設に係る事業(22事業)	4,791万円
・道路や公園、市営住宅などの公共土木施設に係る事業(39事業)	6,521万円
・学校や公民館などの教育施設に係る事業(84事業)	7,967万円
・スポーツ施設に係る事業(20事業)	1,270万円

- 稲村公民館建設事業 …………… 1億2,426万円
- 黒磯駅前広場整備基本計画策定事業 …………… 500万円
- シルバーファーマー制度推進事業 …………… 304万円
- 新庁舎整備基金積立 …………… 2億円

◇東日本大震災による災害対応予算の状況

東日本大震災による被災者の救援のために、また、被害を受けた施設における市民の安全確保及びサービス継続のために、緊急に対応が必要な経費を補正予算により計上しました。

【平成22年度の予備費により対応した経費 総額約669万円】

- 避難所、被災者、避難者への対応のための経費……………295万円
- ガレキ受け入れ、処分のための経費……………197万円
- 施設の応急的な修繕などの復旧経費……………177万円

【平成23年3月の補正予算 総額760万円】

- 施設の修繕などの復旧経費……………760万円

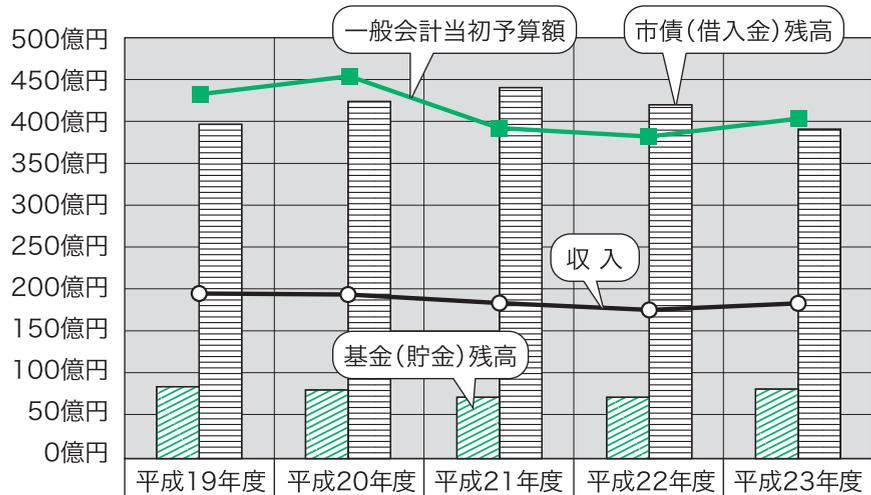
【平成23年4月の補正予算 総額10億9,182万円】

- 避難所、被災者、避難者への対応のための経費……………9,980万円
- 施設の本復旧のための経費……………4億7,392万円
- 緊急経済支援のための経費……………5億1,811万円
 - ・がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金(運転資金利子補給)…………… 55万円
 - ・中小企業緊急支援資金(運転資金利子補給)及び融資預託金…………… 4億1,260万円
 - ・温泉施設宿泊者へ“総額1億円”キャッシュバックキャンペーン…………… 1億75万円
 - ・被災住宅再建等支援(利子補給)…………… 420万円



◇財政(当初予算・市税・借入金・貯金)の推移

那須塩原クリーンセンターの建設工事に合わせて市債(借入金)残高が増えましたが、平成21年度で工事が終了し、平成22年度は減少傾向にあります。



	年度末基金残高	85.4億円	81.9億円	73.5億円	72.6億円	82.5億円
	年度末市債残高	398.1億円	424.8億円	439.8億円	421.2億円	391.6億円
	当初予算額	430.7億円	451.5億円	394.9億円	383.8億円	403.0億円
	市税収入	193.4億円	194.0億円	185.3億円	174.1億円	184.1億円

◇市の財政状態「ここが気になる!?!」

財政に関するお知らせは、「広報なすしおばら」などで定期的に公表が行われています。

しかし!「数字ばかりで、読んでもなんだかよく分からない」と言う方もいらっしゃるかと思います。結局のところ、市の財政状態はどうか?

お答えします。



市の財政状態は良いのですか?悪いのですか?

財政状態を判断する基準はいろいろあります。しかし残念ながら、財政状態が良い・悪いを判断するわかりやすく絶対的な基準はないのです。

「赤字」はないか、「借金」は増えているのか減っているのか、1つの基準をほかの基準とあわせて判断をしたり、そのほかたくさんの指標をほかの市や町と比べてみて、いろいろな視点で判断することとなります。

ちなみに、合併以来、一般会計や特別会計などにおいて赤字になったことはなく、平成21年度の一般会計は約16億円の黒字となりました。



予算の歳入項目を見ると、今年度も借金(市債)があります。

赤字がないのに、借金をする必要があるのですか?

また、借金はほかの市や町に比べて多いのですか?少ないのですか?

大きな施設などをつくる時は、子どもたちが大人になっても使うことを考えてつくりたいです。そのため、将来にわたってその施設を使う子どもたちの世代にも費用を負担してもらうことが、「世代間公平」の観点から、必要であると考えられます。

このため、建設工事を行うときは、借金(市債)をして、その後長い期間をかけて返済しています。

平成21年度末では、一般会計の借金残高が住民一人当たり約36万円で、県内の市や町と比べると、高い方から5番目の状況であり、「比較的多い」状況です。

